



家庭の取組にはどんなものがあるの？

- 新しい家を建てる時は、暖房にあまりエネルギーを使わなくても暖かい家を選びます。
- 暖房機器や家電製品を買うときには、できるだけ省エネタイプを選びます。
- ムダなエネルギーを使わないよう、無理のない省エネをします。

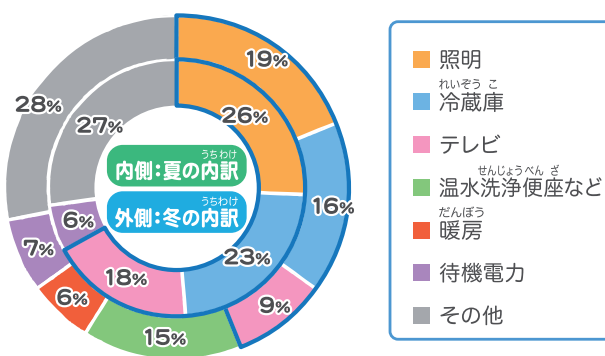


みんなのうちに簡単にできる取組 (家庭での節電)

家庭の消費電力トップ3は「照明」「冷蔵庫」「テレビ」です。特に、冬の照明は使用時間が長くなるので、節電の効果が高まります。

まずは、「照明」「冷蔵庫」「テレビ」の節電に取り組んでみよう！

家庭における消費電力の内訳



※出典：「続けよう！さっぽろの節電力!! 2013夏・冬」より(資源エネルギー庁推計)

●使っていない照明をこまめに消す

それほど明るくなくてもいい場所は、照明をひとつ外すとさらに節電できます。



●冷蔵庫の設定温度を下げる

温かいものは冷ましてから入れましょう。冷蔵庫の周りを壁から5～10cm離すことも節電になります。



●テレビの明るさを下げる

明るさを下げても、画面をキレイにすると見えやすくなります。



計画を作るときにもらったみんなからの意見

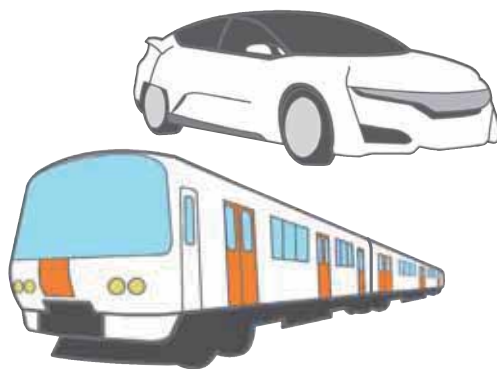


- 暖房に頼らず厚着をしたり、人がいない部屋の照明を消したり、子どもでも簡単にできる取組から始めて習慣にしていきたい。
- 家族に声をかけて、家族みんなで節電や節水をする。
- 温暖化対策をやって、エネルギー消費量が減れば、二酸化炭素も光熱費も減る。減らしたお金を使えば経済効果もあって、一石三鳥だと思う。



自動車の取組にはどんなものがあるの？

- 自動車を買うときには、できるだけ二酸化炭素を出さない車を選びます。
- ゆっくりアクセルを踏むなど、環境に優しい運転をします。
- 自動車にたよりすぎないで、地下鉄やバスなどの公共交通機関を積極的に使います。

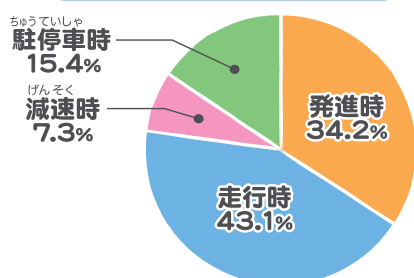


みんなのおうちで簡単にできる取組 (エコドライブ)

札幌では、自動車をよく使うので、エコドライブの取組が重要です。

エコドライブは、燃料の節約や二酸化炭素を減らすだけでなく、安全運転にもつながります。

自動車の燃料消費の割合



※資料：スマートドライブコンテスト(2004年)走行データより

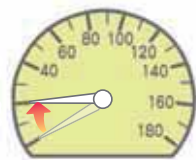
家族とエコドライブについて、話し合ってみてください！

札幌市のアイドリングストップキャラクター【トメマル君】



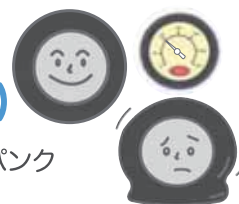
●おだやかに発進する (発進時)

信号が青になってから(前の車が動いてから)ブレーキを離しましょう。



●適正な空気圧に調整する (走行時)

燃費が良くなるだけでなく、パンクのリスクも低くなります。



●アイドリングをしない (駐停車時)

車から降りる時は、必ずエンジンを切るようにしましょう。



計画を作るときにもらったみんなからの意見



- 電気自動車や燃料電池自動車を増やせば、二酸化炭素は大幅に減らせると思う。
- 自動車に乗る時には、親にエコドライブを行ってもらおうよう話をしたい。
- 自動車に頼らずに、健康のためにも、徒歩・自転車・公共交通機関を利用すると良い。



き ぎょう

企業の取組にはどんなものがあるの？

- 省エネタイプの機器や、太陽光発電などを積極的に設置します。
- 機械の使い方を工夫するなど、無理のない省エネを実行します。
- 北国で役に立つ環境に優しい技術を開発して、その技術を活用していきます。



みどりの取組にはどんなものがあるの？



- 森の生き物のことを考え、みどりを守ります。
- みんなで一緒に木を植えるなど、みどりを増やします。
- 木を燃料とするペレットストーブを広めるなど、積極的に木を活用します。



ごみの取組にはどんなものがあるの？

- 生ごみの水切りや、プラスチックのリサイクルなどを積極的に進めます。
- ごみを燃やしたときに出る熱やエネルギーを暖房や発電に利用します。



計画を作るときにもらったみんなからの意見



- 企業には、事業に役立つもので、環境にもやさしい技術や製品を開発してほしい。
- 地域や学校などの花や木を植える活動に参加したい。
- ごみを増やさないようにリサイクルしたり、ごみを出す時には分別をすることが必要だと思う。



未来を守るためにどうすればいいの？

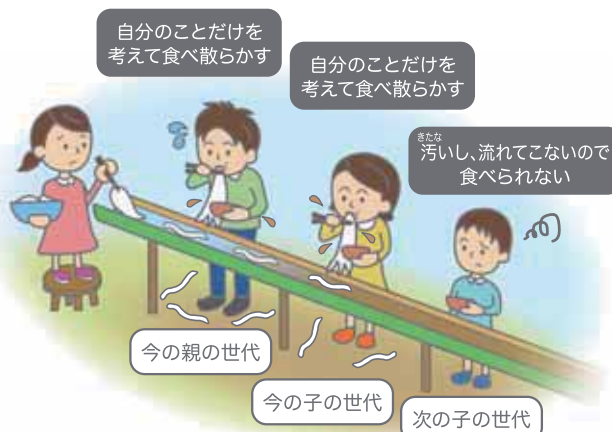
いろいろなエネルギーを使って、わたしたちは豊かな暮らしをすることができます。
これからも豊かな暮らしを続けていくためには、環境のことを気にしながら、
エネルギーを大切にする必要があります。

●あなたの生活はどちらのタイプ？



次の世代を考えてエネルギーを節約して使い、
環境にも気をつかう

みんながこんな生活を続けていたら、
次の世代も豊かな暮らしができる…



自分のことだけを考えてエネルギーをたくさん使い、
環境のことは気にしない

みんながこんな生活を続けていたら
次の世代は大変…

※「こども環境白書2015」（環境省）を基に図を作成

ぼくたちにできることはなんだろう？



ムダづかいをしている
ところがないかチェック
してみよう！



だれも見えていないのにテレビをつけっぱなしにして
いたり、薄着のまま暖房をきかせたり、エネルギーを
ムダづかいしていないか、チェックしてみよう。

小さなことでもみんなで取り組めば大きな効果に
なります。みんなで何ができるのか、考えてみよう！

札幌市環境局環境都市推進部環境計画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL:011-211-2877 FAX:011-218-5108 Eメール:kan.suishin@city.sapporo.jp

ホームページ: <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/newplan/>

※このパンフレットは小学校5年生から中学校3年生に配布しています。



さっぽろ市
02-G02-14-2206
26-2-1284